

Que Será, Será

VOL.77
2014
SUMMER



ポルトガル カスカイス海岸



不安のない生活——(22)私の靴は30年余クラークス

医療法人 和楽会 理事長 貝谷久宣



今でこそ精神医学の診断は、研修医にもわかり易い診断基準を示したWHOによる「ICD-10精神及び行動の障害」と米国精神医学会による「DSM-5精神疾患の分類と診断の手引き」がありますが、40数年前にはそれぞれこそ精神医学の診断は職人仕事の様なものでした。教授や先輩の指導を受け患者さんの陳述内容を分析理解し、または長らく経過を見て診断をつけるといったことが普通でした。また、他の臨床科からよく精神科が嘲笑されたことは、症例検討会で多数決により診断を決めるという慣習でした。そのような状況の中でWHOのICD(疾病国際分類)に沿った問診票ができたことは若い精神科医にとっては大変魅力的なことでした。この問診手順を当時、WHOの日本における精神医学研究拠点になった長崎大学の中根先生のグループが翻訳していました。PSE(現在症検査手順)と呼称していました。ドイツ留学から帰る間もなく講師に昇任した当時の筆者は、新しい精神医学を開拓すべく情熱に燃えており、何とかこの新しい診断

不安のない生活—(22)私の靴は30年余クラークス



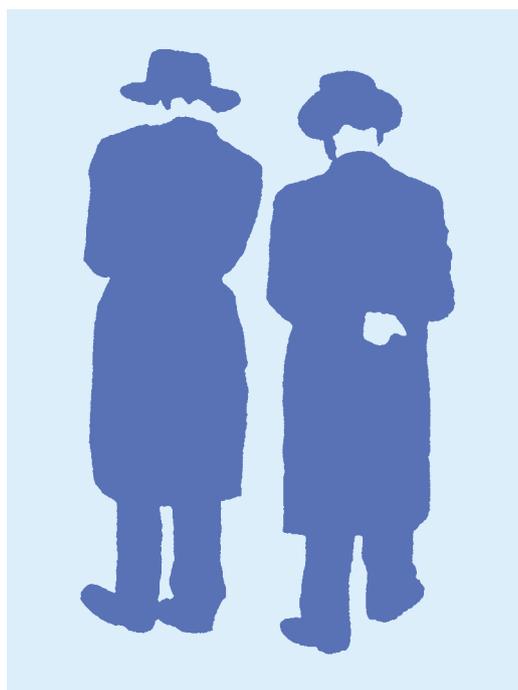
メソッドをものにできないかと腐心しました。決心の末、この本の著者の一人であった英国ノッティンガム大学のJohn E. Cooper教授に直接手紙を書きました。そうしたらこの高名な教授から、日本へ診察法を教えに来てくれるという返事が届きました。この快報に仰天し、受け入れ準備に大わらわの状態となりました。クーパー教授は大型コンピュータ用の直径70cmほどもあるリールを以て来日しました。これはPSEのコンピュータ診断のためのソフトでした。5日間のPSE講習会は私の研究グループの数名と他大学の研究者数名で受けました。クーパー教授はそれまでも世界中の数多くの国々で指導されたとみえ、大変手際よく指導をされました。患者さんを前にしたPSEの問診を付きっ切りで指導し

てくれました。日本語は理解されていなくてもその場の雰囲気です細かに教え導いてくれました。クーパー教授の講習で今でも忘れないことがあります。それはなかなか話してくれない患者さんは、一旦診察を打ち切り、少し時間を置いて再度入室してもらうというテクニックです。短時間の間隔でも2回目に顔を合わせた時のほうが緊張感は和らぎ、患者さんはずっと話しやすくなるということです。これは人情をよく知った面接法であると今でも感じます。この講習を受けてからは俄然臨床診断に自信を持てるようになりました。しかし、どんな患者が来ても全く不安にならなくなったのは医者になってから20年ほど過ぎた頃でしょうか。他科よりも精神科の診断は決定的な客観的所見が少ないのでは

りより多くの経験が必要だと考えられます。卒業して10年未滿で精神科を開業する人もいますが、その度胸に啞然たる思いを隠せません。それから数年して私はヨーロッパの学会に出席する際、クーパー教授にノッティンガム大学を訪問したい旨を伝え、快く迎えていただきました。週末で大学病院は休みでしたが、教授自ら病棟を案内してください、イギリスの精神医療の特徴を聞かせていただきます。当時、日本がまだこの分野では後進国であるとしみじみ感じました。

瞬ひるみました。しかし、釣りの話やらWHOの仕事で世界中に出張したよもやま話を聞かされ楽しい夕べを過ごしました。この夜から物静かだったクーパー教授の人柄に大変好感を持つようになりました。クーパー教授は身長180cm以上あるハンサムな典型的な英国紳士で、大きな靴を履き大股で歩く姿は颯爽としていました。翌日近くの池に二人で散歩に行きました。その時彼が履いていたのがク

ラークスの靴です。彼は丈夫で長持ちすると言ってその靴を自慢しました。それからある日クラークスの靴を買う機会に恵まれ、甲高の私の足に幅広のクラークスの靴は心地よくフィットしました。Naturalという品番は履けば履くほど足になじんでくるのです。それ以来ほとんど毎日クラークスを履き、英国の思い出を足元に忍ばせながら精進させてもらっています。



人の車に乗る・人を車に乗せる

医療法人 和楽会 なごやメンタルクリニック院長

原 井 宏 明

家族が運転する車に乗るのが不安

診察している中で、こんな悩みを患者さんから伺いすることがあります。ある40代の女性の方です。一人暮らし。同じ市内に両親がおられます。

ある夕方、母に頼まれて、いつも通っている内科の病院まで自分の車で送ってあげた。いつもはバスで通っているところだが、雨が降りそうなので娘の私に送って欲しい、という。初めて行くところだが、途中の道は走り慣れているところなので、気安く頼みを引き受けた。しかし、乗せてからが大変だった。「あぶない、ぶつかる、ブレーキ、信号、歩行者」といちいち大声で言ってくる。もともと気が細かい人だから仕方ない、15分ぐらいのことだから、と我慢していたが、とうとうある交差点に来たところで娘の私も切れた。「黙れ、おりろ、ここから歩いて行け!」。さすがに母もそこからは黙ったが、帰りはもう迎えに行かなくて、タクシーで帰ったみたい。母はいつも私を子ども扱いする。もう二度と母を乗せたくない。

今度は、別の50代の女性の方。夫と自分の両親、成人したお子さんたちと暮らしておられます。

この間、買い物に行くときに、20歳の次女の車に乗せてもらった。いつもは自分の車で行くところなのだけど、自分の車は車検中。娘の車に乗るのは初めてなのだけど、もう恐くて恐くて。交差点では左右を見ないで発進してしまし、止まるときはブレーキを踏むのが一歩遅い。前の車に突っ込むんじゃないか、とずっとヒヤヒヤ。

助手席に座っている間、足は突っ張ったまま。両手でアシストグリップにしがみついていた。心臓が悪いので、もう二度と次女の車には乗りたくない。

お二人ともそれぞれ同様に値します

車の運転の仕方には性格があらわれます。ブレーキを踏むタイミング一つとってもそれぞれ微妙な差があります。他人が運転する車に乗るとき、自分の運転の仕方に慣れていないと、自分の運転の仕方との違いが気になります。全くの赤の他人の運転なら、我慢して乗るのかもしれませんが、身内が運転する車となると、つい自分の気持ちを言葉に表したくなります。自分の思うように運転手を操作したくなります。そして、運転手の側から見れば、運転中にあれこれ横から口を出されることほど、運転のさまたげになるものはありません。

娘が運転する車に私が乗る

九州にいる私の娘は20歳、大学2年生です。母親と一緒に住んでいる自宅から大学まではJRとバスで1時間半かかります。自動車通学ならば半分以下の時間になります。夏休みの間に免許をとらせ、軽四を買ってやることにしました。娘によれば、母親が心配症で、事故を起こしたらいけないから、時間に余裕があるときはJRで行きなさい、天気予報が雨の日は車はダメ、という条件をつけてくれるそうです。実際に運転するのは学校の実習などで遅くなる週に1回だけぐらいとか。

私は年に数回、九州に帰るときがあります。娘に会うことも一つの目的です。そんなある日、娘の車を見せてもらったことにしました。ついでに、福岡空港まで娘の車で送ってもらったことにしました。娘・お母さんが高速道路はダメだと言っているよ。

私…まあ、そう言うだろうね。お母さんには下の道でゆっくり行ったことにしよう。道案内は私がするから大丈夫だよ。

さて実際に娘の車にのり、「高速道路

に乗るのは、自動車学校での高速教習以来初めて」という娘を説き伏せ、イン

ターチェンジに入り、九州高速道路と都市高速を使って空港まで向かうことにしました。私の方は言えば、冒頭のお二人の患者さんの教訓が頭にあって、できるだけ余計な口を挟まないように、運転を誉めるようにと心がけていました。確かに高速道路では車間距離が空きすぎて、前に入られたり、上り坂でスピードが落ちてしまつて後から煽られたり、いろいろな気になるところがあります。ブレーキのタイミングも私の場合とは違います。でも、初心者としては及第の運転でした。ちゃんと左右の確認もしています。混雑した都市高速でタイミング良く車の流れを見て、車線変更し、的確に目的地のランプで降りるのはちょっと難しいことですが、これも無事にやつてくれました。

さて私と娘が車に乗っていると、携帯のカメラで自分撮りしました。宝物の写真です。これを、周りの50代のお父さん達に見せた日には、もう羨望のまなざしが痛くてたまりません。一方、私自身は、今、思い出してもなんとも言えない不思議な気持ちになります。あの小さく可愛かった娘が、むずがっているとき私の運転する車に乗せれば笑ってくれた娘が、ベビーカーに固定されていた娘が、今は運転席でハンドルを握り、私は助手席に座っています。ああ、いつか、この娘が私を病院に連れて行ってくれたりする日が来るのだろうか、とも想像していました。子どもが成長するのは早いものです。そして私の頭の中ではこの20年間を「瞬間の出来事のようにして思い返すことができます。親娘の間で運転席と助手席を取り替える日が来たなんて。

私が運転する車に彼女が乗る

では35年前、私が20歳だったころはどうでしょう? 私も20歳のときに免許を取りました。下宿から大学までは自転車で行ける距離なので親が車を買ってくれるはずもなく、実際にハンドルを握るのは実家に帰ったときぐらいでした。

3年生の夏、彼女ができて、夏休みをどう過ごすか考える必要ができました。若い男女が夏のデートをするなら、やっぱり海でしょう。海に行くなら、車でしよう。運良く、同級生が、私の恋に快く協力してくれて、彼の中古のサニーを貸してくれました。

女性と二人きりで長距離ドライブ、海!!

せっかくできた彼女、私も一生懸命。彼女は「車の運転の仕方にはその人の性格が出るからね。あなたがどんな運転するのか、楽しみ」と言ってくれていました。当時の車ですからマニュアルミッションです。クラッチミートに失敗してエンジンとなって恥ずかしいことだけはしないように1週間前から運転を練習していました。バッテリー上がりでエンジンがかからないなんてことにならないようにとブースターケーブルもばつちり準備していました。(当時の車と今の車は信頼性の点では別モノです。)

長い1日が終わり、岐阜に帰り着く頃、彼女に聞いてみました。私…ところで、どう? 私の性格は? 彼女…運転が下手過ぎだったから、わからなかった。

父の車を私が運転する

実家に帰って、父の車を運転した時はどうだったのでしょうか。一番最初が大変でした。実家の駐車場は坂道の途中にあります。バックで坂を上りなが

ら駐車場に入れるのですが、オートマ

車でもアクセルを踏まなければ、前方にズルズル下がってしまいます。マニュアル車は大変。サイドブレーキと半クラッチを使った坂道発進と後方確認を同時に行わなければなりません。私は見事に父の車のフエンダーを凹ませてしまいました。でも、父は怒りませんでした。

「中古のスタンザだから、いいよ。それより最初に車を止めたところがちよつと違う」
もう一度、やり直しをさせてくれました。

娘の意見

この原稿を書いた後、娘にチェックしてもらいました。修正点…家から大学までは1時間半ではない。2時間かかるぞ。感想…お母さんの運転への口出しはまだマシな方なのか、と思った。

娘はこんなことをメールで送ってきてくれるようになりました。子どもの成長はまぶしいものです。そして私も、良い乘客になることを心がけなくてはいいけませんね。



(原井宏明略歴)
一九五九年京都生まれ。一九八四年岐阜大学医学部卒業。神戸大学精神科、国立肥前療養所(現、肥前精神医療センター)、国立菊池病院臨床研究部長、診療部長を経て、二〇〇八年一月から、なごやメンタルクリニック院長。日本行動療法学会認定専門行動療法士。動機づけ面接トレーナー。

病(やまい)と詩(うた)【31】 — ウィリアム・S・クラーク先生(1) —

東京大学名誉教授

大井 玄

「大志」か「野心」か

終戦当時小学校の高学年だった年代で「少年よ、大志を抱け」のクラーク先生を知らぬ者はいないだろう。言うまでもなく創設期の北海道大学(札幌農学校)の「プレジデント」である。直接教えた1期生には言語学者大島正健、北海道帝国大学総長佐藤昌介、2期生には日本のキリスト教会で指導的地位にあった内山鑑三、「武士道」の著者で国際連盟事務次長だった新渡戸稲造など優れた人物を輩出した。

大島正健の著した「クラーク先生とその弟子たち」には、清教徒の人格者であり、伝道者であり優れた教育者であった彼の姿が、深い敬愛の念をこめて描かれている。

素朴な少年だったわたしは彼の弟子が見た人物像をそのまま信じてアメリカに渡り何年か過ぎたが、そこで知ったのは認識の社会・文化差だった。まずクラークの出身地マサチューセッツ州アマースト以外では彼の名を知る者はいなかった。マサチューセッツ州立大学アマースト校には、レンガ造りの建物「クラーク・ホール」があるがそれを教室として使う学生さえも誰一人としてクラークが何者であったかを知らない。

次に「Ambition」の語感が人によって違うのだった。たとえば

ニューヨークから来たユダヤ系の男は、それは利己的意味が強いという。つまり個人的「野心」である。ところがアマーストからの友人は、人それぞれAmbitionsであるべきだと、しごく肯定的にとらえていた。独立自尊の人生を送るには創意を持ち積極的に物事に当たることがある。Ambitionsはその中核になる心理力動あるいは心構えである。

いずれにせよ日本語の「大志」とはニュアンスが違う。日本語の場合、「志」には他者のために何かをするという意味合いが濃い。たとえば地方から青年が勉学のために上京する場合、友人や近隣の人たちはなげなしの金を包み「寸志」として渡す。わずかな志である。また医師は「志」を持ってと教えられる。つまり病に苦しむ者がいれば、金持ちであれば金が貧乏であるのが助けなという教訓である。

ところでクラークが残した言葉は「Boys, be ambitious like this old man」であったと伝えられるが、日本で人口に膾炙した成句には「この老人のごとく」が入っていない。しかしこれがあるのではないとでは語感が違ってくるのではないか。50代の「老人」が大志を抱くだろうか。野心ではないのか。大島はこの点について断固として言う。「野心家たれ

という訳について)これは誤訳もはなはだしいのであって、先生はすべからず大抱負をいだき未来に夢を持ってということを訓えられたのである」

いずれにせよ「アンビシャス」の訳は「大志」が最善であるのか「野心」がより適切であるのか。8か月間の薫陶を通して日本の少年たちの胸に刻みつけられたクラーク像は、アメリカに育ちその文化・社会的文脈で彼を観ることのできる史家のクラーク理解と比較する必要がある。

「クラークとその栄光と挫折」を著したマサチューセッツ大学アマースト校教授ジョン・M・マキがその歴史家である。

札幌に来る前のクラークの軌跡

1826年に生まれ、1886年に没したウィリアム・スミス・クラークの軌跡には大きく分けて三つの時期が認められる。40年間の学者生活、1861年から2年間の軍人生活、一時儲かったがすぐに失敗する実業家としての短くも悲惨な期間とそれに続いて失意のうちに心臓を病み、活動ができなくなった晩年である。

紙面の余裕がないので、まず学者としての経歴を駆け足でたどってみよう。クラークは18歳のときアマースト大学に入ったがこれが学者への第一歩だった。彼はそこで科学、とくに化学と地質学を専攻したが、これが植

物学とともにその生涯の専門分野となる。真面目で優秀であった。卒業後2年間自分の出たウィリントン高校で教えたが、ドイツのゲッチンゲン大学大学院に進み、2年後には隕石中の金属に関する論文で博士号を取得し、1852年アマースト大学に戻り、化学と動物学、後に植物学をも教えた。身分は安定し、彼はハリエット・ウィリントンと結婚し、11人の子に恵まれる(三人夭折)。

彼は同大学に15年いたが、優れた教師、革新的な教育者、さらには大学関係の資金集めに有能であるという評判をとる。

しかしここでの勤務は南北戦争のため中断され、1861年夏マサチューセッツ第二十一義勇軍に少佐として加わり、1863年春まで戦地にあつて数々の武勲をたてる。大佐に昇進し、のちには准将に推挙されるがそれが実現する前に軍隊を辞めている。彼は卓越した指揮官との評判を取り、危険をものともしない豪勇ぶりが評判となった。

アマースト大学に復帰した時、彼にとつては時代がまさに音を立てて転回する時期だった。1862年アメリカ連邦議会でモリル法が成立したが、これは各州に大学を設立するための土地交付法であった。同法に基づ

いてマサチューセッツ州で農科大学を新設する計画が進行しており、彼はその大学をアマーストに誘致しようという運動の推進者となり、成功する。その功績と学者としての評価のお蔭で、彼は新設農科大学の学長に選ばれた。彼が農科大学の名学長としての名声が高まっていた頃、明治維新後北海道開拓の必要性を痛感していた日本政府は同じような農業専門学校を札幌に建てようとしていた。後の北海道開拓庁長官黒田清隆が渡米したのは、その学校を発足させるアメリカの教育者を求めてでもあった。

これから数回、筆者の見たクラーク先生を描いてまいります。



大井 玄(略歴)

一九三五年生まれ。
一九六三年東京大学医学部卒。
東京大学名誉教授。
元国立環境研究所所長。
臨床医の立場を維持しながら国際保健、地域医療、終末期医療にかかわってきた。

◆ドクターヨシダの一口コラム(42)◆ サッカーのワールドカップ

医療法人和楽会 心療内科・神経科 赤坂クリニック院長

吉田 栄治

サッカーのワールドカップは、残念な結果に終わってしまいました。日本がダークホース的な活躍をすることを密かに期待していたのですが、。実力も出し切れずに終わってしまったという感じですね。選手たちが一番悔しいんだろうと思います。直前の強化試合で日本が対戦して3-1で勝利したコスタリカは、強豪のひしめくグループDで、ウルグアイ、スペインと撃破してグループリーグを見事に突破、ベスト8にも残って、うらやましい限りです。日本があの立場になってほしかった。

初戦のコートジボワール戦は、6月15日、日曜日の午前10時からという絶好の放映時間です、9時ころから(家内と娘はあいにくサッカーに興味がないため)私一人でテレビにかじりついていました。グループリーグ3連敗もありうるし、場合によつたら初戦のコートジボワール、第二戦のギリシャと連勝して、波に乗ってコロンビアまで食ってしまった3連勝だってありうるかもしれないと超楽観的な期待も抱きつつ、どちらに転ぶかは時の運?というわけで、もう試合が始まる前は、心臓バクバクで苦しくなってきました。両肩までバンバンに張ってきて、ちよつとこれはやばいなという感じでした。プチパニックのような状態で、少し気持ちを落ち着けなければいけないと思ひ、ゆつくりと呼吸をして「どうか強い日本を見せてくれ」と心の中で念じて気持ちを静めました。ここまでドキドキしなくてもいいだろうと思ひましたが、それだけ期待と不安が強かったということでしょう。

試合が始まってしまうと冷静に試合を見つめていました。本田の先制ゴールの際には、「よっしゃー!!」と一人大声を上げていました。「よし!これで行けるぞ」と思ひましたが、だんだん雲行きは怪しくなっています、後半、コートジボワールのエース、ドログバが登場してくるや、その存在感と言つたら他の選手を圧倒して、あつという間に日本は逆転されてしまいました(悪夢の2分間でしたね)、悔しい初戦敗退となつてしまいました。世界の一流選手の壁を感じてしまう試合でした。しばらくその日は、がっくりでした。二戦目以降は早朝の放映でもあり、生で見ていると睡眠不足にもなりますし、心臓にも悪そうでしたし、私が生で観戦すると日本が負けてしまうかもしれないと変なゲン担ぎもして、録画で観戦することにしました。結果は、皆さんご存じのとおり、ギリシャには引き分け、コロンビアには善戦したものの1-4の大差で負けてしまい、グループリーグ敗退でした。世界の壁はまだまだ高かったということでしょうか。

今回のドキドキやらがっくりは、結構なストレスだったように思ひました。特にコートジボワール戦が始まる前のドキドキは、パニックの小発作を疑似体験したような気分でした。しかしこのドキドキは、原因ははっきりしない強い不安によるものではなく、自ら刺激と感動を求めてのドキドキでした。そもそも人は刺激(ストレス)を求めるところがあるということです。ですから、パニックの小発作のような状態になつても、「お、ドキドキしてきたぞお」とむしろそのドキドキを味わつてしまうというか、じっくり観察してやれという気持ちになれるといいでしょう。有名な「吊り橋効果」という言葉を皆さんはご存知でしょうか。独身男性を二組に分けて、溪谷にかかる揺れる吊り橋と、揺れない橋をそれぞれ渡ってもらい、その中央で若い女性が突然アンケートをするという心理実験なのですが、揺れる不安定な吊り橋の上でアンケートをされた男性グループのほうが女性に好意を抱く傾向が強かつたということです。吊り橋の上でドキドキしていたのを、相手の女性に対するドキドキと勘違いする傾向があつたというわけです。このように人は勘違いをする生き物で、パニックに陥つた時には、ドキドキを破滅的なものに結びつけてしまう誤認が起こつていると言われます。ですから、その誤認を、「何かちよつと体調がよくないのかなあ」くらいに考えたり、むしろ「これはスリルを味わっている時のドキドキと同じようなものだ」とすり替えてしまひましょう。

一口にストレスといつても、実は快ストレスと不快ストレスがあります。ある意味、ストレスは人生のスパイスであると言われます。ストレスの全くない人生はきつと味気なく退屈なものになるでしょう。種々のストレスがふりかかつてきても、それをどうとらえるかによつて、快ストレスにも不快ストレスにもなり得るといふことを理解し、いろいろ大変なことが起こつても、人生波乱万丈、何事も経験であるのとらえることができれば、つらい出来事もいっらかは受け入れられるようになるのではないのでしょうか。

最後に、今回のワールドカップ、日本は本当に残念な結果に終わってしまったが、これから4年後のワールドカップに向けての新たな道が始まるのだと気持ちを切り替えて、また応援をしていきたいと思ひます。今しばらくは決勝トーナメントを楽しみ、世界のサッカーの實力をしつかりと目に焼き付けつつ..。



〈吉田栄治略歴〉

一九五九年生まれ。
一九八四年防衛医科大学校医学部
医学科卒業。自衛隊中央病院第一
精神科、自衛隊岐阜病院精神科、
自衛隊仙台病院初代精神科部長を
経て、二〇〇三年九月より心療内
科・神経科 赤坂クリニック院長。

胃食道逆流症のはなし

医療法人 和楽会 横浜クリニック院長

工藤 耕太郎

「ストレスを感じると吐き気がする。」

「ストレスを感じると胸の痛みがする。」

そういう症状でお悩みの患者さんもしばしば受診されます。

慢性的に吐き気を感じているために、例えば

「満員電車に乗って吐いてしまったら」

「外で食事をして吐いてしまったら」

と考えるようになり、行動範囲が制限されてしまうことがあります。

吐き気や胸の痛みを感じているため、患者さんは内科にまず受診します。内視鏡の結果、

「胃は問題ありません。精神的なものじゃないですか。」

と説明を受けて精神科や心療内科に受診するようになります。

ここで、もう一度振り返らなければいけないことは、胃が問題なくても吐き気や胸痛が出現することがありうるといことです。あまり聞きな

れないかもしれませんが、胃食道逆流症という病気があります。胃液が食道に逆流することにより食道が炎症を起こす病気です。

「内視鏡で食道も覗いているのでは？」

という疑問が起きるかもしれませんが、実は胃食道逆流症

という病気は、粘膜病変が内視鏡で認められる(逆流性食道

炎)と粘膜病変が肉眼的にはつきりしない(非びらん性胃食道

逆流症)の2つが存在します。どちらの場合も組織をとってきて顕微鏡的に観察すれば炎症は存在するのですが、現在のところそのような検査は行

われません。従って内科で内視鏡検査を行っただけではこの病気は否定できないのです。

また非びらん性胃食道逆流症という概念はここ10年できあがったものなので、やや年配の消化器内科医は知らない可能性があります。

2012年のYear note(国家試験用の参考書)によれば、胸やけ、胸の痛みなどがあり、精神的興奮等で誘発され、時



フクロウ博士のチョット一言

「死んでから人生を考えたみたら どうでもよかったのである」
沢木興道老師の言葉

沢木老師は明治生まれ、大正・昭和を生きた禅僧です。この一句はもちろん、人生がどうでもいいと言っているわけではありません。

この言葉は「『死』という鏡に てらしたら、人生の細かいことなどたいしたことではなくなる。そして大切なことだけが見えてくるはずだ」

ということを指摘しているのです。

(中野東禅著 「禅僧が教える 老いと死を楽しむ一句のちから」イースト・プレス より)

に嚥下困難を伴う場合には、
逆流性食道炎を疑う。

とされており、今、医師免許
を取るならば必ず知らなけ
ればならない知識となつて
います。

それでは、どのような検査
を行えば胃食道逆流症の診断
ができるのでしょうか。もつ
とも確実な検査は24時間PH
モニタリングです。PHメー
ターという酸やアルカリを測
る測定器を24時間食道に留置
することにより食道内が酸性
になつてゐることを証明しま
す。しかし、この検査はあま
りにも患者さんの負担が大き
い上、行つてゐる病院は少な
いです。ですから一般的には
PPIテストと言う方法を用
います。PPIというのはプ
ロトンポンプ阻害薬と言われ
る胃酸の分泌を抑える薬です。
これを最大量で1週間飲むこ
とにより症状が緩和(完全によ
くなるわけではない)されるか
どうかを観察します。症状が
緩和されたら胃食道逆流症の
治療を続けて行つていきます。

それでは胃食道逆流症とは

どんな症状があるのでしょ
うか？

胸やけ
胸痛
はすでに記しましたが、それ
以外にも

喉のつかえた感じ
かすれ声

原因不明の頑固な咳

なども胃食道逆流症の症状で
す。胃酸の逆流により喉全体
が炎症を起こすことからこの
ような症状が出現するのです。

さて、胃食道逆流症により
特定場面への恐怖心を学習し
てしまつてゐる患者さんも多
くいらつしゃいます。この場
合、学習の結果を解除するた
めに行動療法や抗うつ薬を使
用することも考えられるかも



しれません。ただし胃食道逆
流症自体の治療を行わない限
りは、根本的な吐き気や胸や
けが減少しないので、効果が
薄いと私自身は感じています。



〔工藤耕太郎略歴〕

〔学歴〕

- 一九九六年三月 山梨医科大学医学部医学科卒業
- 二〇〇二年三月 山梨医科大学医学部大学院 博士課程生態系卒業

〔職歴〕

- 一九九六年四月 山梨医科大学精神神経医学講座入局
- 二〇〇二年二月 山梨医科大学精神神経医学講座 助手
- 二〇〇四年四月 国立精神・神経センター武蔵病院 厚生技官
- 二〇〇五年四月 東京大学精神神経科 助手
- 二〇〇六年三月 滋賀医科大学精神医学講座 助手
- 二〇〇七年五月 滋賀医科大学精神医学講座学内講師
- 二〇〇八年より大学を離れ
- 二〇一三年より現職

● 野鳥図鑑 ●



【カッコウ】

高原に「カッコウ」のすがすがしい
声が響くのは夏の風物詩である。こ
の鳥は自分で巣を作らず、他の小鳥
類の巣に卵を預け入れる托卵という
変わった習性をしている。しかも、
孵化した雛はその鳥の卵を巣の外に
捨ててしまうというから迷惑な話で
ある。木から木へ移動する途中を待
って、飛翔する写真を撮ることがで
きた。

撮影
日本野鳥の会 岐阜代表 大塚之稔 ゆきとし